

船井情報科学振興財団奨学生レポート

2019年12月

小松夏実

1. 研究の話

思い返すと今学期はひたすら論文を書いていた！そもそも今学期は Review 論文の追い込みからスタートし（先々週やっと公開。

<https://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6463/ab4ca4/meta>）、先学期から書き始めていた論文をようやく投稿し（Revision 中ですが arXiv にあげました。

<https://arxiv.org/abs/1912.11175>）、もう一本今年中に投稿しようとしています（たぶん無理）。もう一本投稿したら Master を Defense していいという指導教官との約束なのであと一本頑張ります。

私が1年生の頃に始めた共同研究がぞくぞくと形になった学期でもありました。そのうち二つは公開され（<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acs.nanolett.9b03022>と <https://aip.scitation.org/doi/abs/10.1063/1.5127209?journalCode=apl>）、投稿中のものが一本、論文を書き始めたものが一本あります。

こうして今までやってきた仕事を世に出せるのはとても有難く嬉しいことです。しかし同時に、自分の英語のライティング力の低さに絶望した学期でもありました。日本の教育はもっとライティングに力を入れるべきではないでしょうか！…と叫んだところで私のライティング力は向上しないので、毎日おとなしく学校のライティングセンターに通っています。踏ん張ってあと二本投稿し、Master を取り、早く実験漬けの毎日に戻れるよう頑張ります。

そして今学期は私の属するサブグループにたくさん人が入ってきた嬉しい学期でもありました！先学期まで、このサブグループで実験してるのは実質一人だったのですが、ポスドクが一人加わり、ビジターが一人加わり、PhD 生が一人加わり、そして学部生が5人加わったので一気に9人の大所帯です。そして自動的に私がリーダー的な役割に！戸惑うこともあります（女性やマイノリティがリーダーとして働くことの難しさなどに関して最近色々思うことがあるのですが、こちらは次回書かせて頂ければと思っております。）、基本的にはのびのびやらせてもらっています。とにかくマンパワーがあるって素晴らしい！と感動する毎日です。今まで実質一人だったため生じた「アイディアはあってもマンパワー不足で実現できない！」という歯がゆさが一気に解消されてとても楽しいです。今学期は色々種をまいたので、芽が出てくるのが楽しみです。

2. TOMODACHI プログラムの話

11月に日米カウンシル (<https://www.usjapancouncil.org/>) のアニュアルカンファレンスにスピーカーとして招待して頂きました。日米カウンシルは日米関係の推進を目的とする非営利団体で、学生さんの中には東日本大震災のあとに始まった TOMODACHI イニシアチブプログラムをご存じの方もいるのではないのでしょうか。TOMODACHI イニシアチブは当初大震災からの復興に注力していたのですが、現在は日米間の懸け橋となるような次世代リーダーの育成を目的とし若い世代に向けたたくさんのプログラムが用意されています。今回は、アラムナイとして、TOMODACHI プログラムは具体的にどんなインパクトがあるのか、TOMODACHI Generation (アラムナイのネットワーク) のポテンシャルについてお話してきました。私が見よう見まねで TED style talk に挑戦している様子が YouTube で公開されています (<https://buff.ly/35kfLYS>)。普段はお会いできないような方々と、次世代リーダーシップに関して、STEM 女性に関して、マイノリティ関連問題に関してなどなどお話することができ、とても貴重な経験をさせていただきました。

最後になりますが、このレポートを作成する中で自分が如何に周りの方々に支えて頂いているか改めて痛感いたしました。このような恵まれた環境で研究に励めますのも船井情報科学振興財団の御支援のおかげです。この場をお借りして深く御礼申し上げます。